



# 農大



## 「農業は実践から学ぶ」

校長

小林 こばやし

智子 のりこ

農業は「まず自分でやってみる」が基本です。何故なら本を読んだり講義を受けただけではできないことが多いからです。やってみたことの良し悪しは、育てている農畜産物が目に見える姿で答えてくれます。農大では、授業の半分を学生が責任を持って一連の管理を行う農場実習とし、理論と実践を同時に学びます。農業のやりがいに「自分で計画してやれること」が挙げられますが、自分の判断により農畜産物の出来や所得が決まります。就農すれば土壌条件、気象、市場ニーズなどからどんな品種をどう管理し、いかに販売するかを自分で判断することが必要です。授業や実習でも「出来なかった原因を探り、出来るようになる方法を考える」習慣が大切です。



# 流通販売実習

学生達が農場実習で栽培した農産物や加工品の販売を準備から対面販売まで学生自身が企画し、消費者との交流を通して、経営手法を学習する目的で、流通販売実習を行っています。この流通販売実習は、校内で行う農大市（5回）、量販店、直売所等で行う校外販売研修（4回）の他、市場流通研修として大阪の青果・花き・食肉の各市場を専攻コース毎に視察するとともに、量販店の仕入れ・販売状況等の説明を受けるなどし、食品流通の実態も学んでいます。



中部フェスタ(倉吉未来中心)



地場産プラザ「おったいな」(鳥取市賀露)



農大市(農業大学校)



倉吉農業高校食品科流通コースの視察



大阪青果市場視察(果樹・野菜・作物コース)



大阪南港家畜市場(畜産コース)

## 雇用就農相談会

就農に関心のある学生、研修生が、現在あるいは将来的に雇用を検討している農業者等（大規模個人農業者や農業法人）と面談し、農業現場で求められる専門知識・技術、人材等について情報交換し、就農への動機付けと就農意欲の向上を図ることともに雇用者側の人材確保のためのマッチングの場として、平成26年から雇用就農相談会を開催しています。

会では、雇用就農した本校卒業生が後輩学生に経験に基づいたアドバイスを、また経営者代表から「経営者として雇用就農者に期待・望むこと」についてアドバイスを受け、その後求人者毎のブースに分かれ、求人・求職双方の情報交換を行います。

求人側の参加者はH26年度15名、H27年度35名、H28年度65名と年々増加しており、農業大学校への期待の大きさがうかがえます。

※雇用就農：大規模農業者や農業法人に就職し、従業員として農業に従事すること。



卒業生によるアドバイス



ブース毎の相談会

## 第11回全国和牛能力共進会（宮城大会）に参加して

鳥取県から種牛18頭（種雄牛1頭、雌牛17頭）及び肥育牛8頭で計26頭が出品されました。そのうち、農業大学校としては系統雌牛群（しば系）4頭セットのうちの1頭（「はちこう」号、ハンドラー：近藤あゆみ、畜産科2年）として参加しました。4頭ともハンドラー（綱持ち）は女性でなおかつ服装も「山ガール」で統一しました。

大会開催期間は、9月7日開会式から9月11日閉会式までの5日間ですが、出品者として9月3日荷物搬出、4日牛及び人員出発から9月12日牛及び荷物受入まで10日間関わりました。

その結果、本校出品の系統雌牛群では、優等賞4席（全国第4位）という好成績でした。鳥取県としては過去最高位です。

平成28年11月から選抜審査が開始され、平成28年6月最終審査会で見事選抜されました。その間、本校畜産科の学生（1年7名、2年6名）と職員4名総動員して調教運動に励みました。毎日猛暑の中、1周400m圃場を10周以上運動させ、その後水洗や立ち姿勢の調教など精力的に関わりました。その結果がこのような素晴らしい成績につながったと信じています。



近藤あゆみさん（左から2番目）



近藤あゆみさんと「はちこう」号



4頭と4名のハンドラーぞろい踏み。「はちこう」号の旗を持っているのは津村恒志郎君（付添人、畜産科2年）

# 農大各コースの取組を紹介します!

## 果樹コース

果樹科ではナシ、ブドウ、カキ、モモ等、代表的な落葉果樹を栽培しています。ほ場面積は約1haありますが、このうちナシの面積は全面積の6割を占めます。

二十世紀ナシは勿論、鳥取生まれの新甘泉など新しい品種の栽培を行っています。また、これらの品種を中心に新技術である「ジョイント仕立て」にも取り組んでおり、学生や研修生はこの新技術の有利性を実感しています。

今年の学生数は7名で、うち5名が女子学生であり、女子力が高め?の果樹科です。学生に加え、研修生も在籍しておられ、皆で協力しながら美味しい果実生産を目指して日々奮闘しています。



## 野菜コース

本県の主要野菜である、スイカ、白ネギ、ブロッコリー、トマトなどの栽培に取り組んでいます。各野菜の栽培から流通に至るまでの理論、技術や経営などの幅広い知識について学習を行っています。

専攻では、学生一人につき1棟のビニールハウスの管理ができ、栽培計画の作成から始まり、播種、収穫、調製、出荷までの一連の管理を、責任を持って担当することで、経営感覚に優れた鳥取県農業の担い手となる人材の育成を図っています。



## 花きコース

県内で栽培の多いストック、シンテッポウユリ、花壇苗を中心に、様々な花の勉強をし、学生1人1人が自分の担当品目を決め、自信を持って管理出来るよう、頑張っています。また、現地視察や研修会なども積極的に行っています。

今年は、プロジェクト課題で「父の日」に向けてヒマワリの栽培を行い、アレンジメントや花束の販売も行いました。今後は、修農祭に向けシクラメンや花壇苗の栽培が忙しくなりますが、冬には保育園での寄せ植え教室の開催も計画しています。



## 作物コース

米、大豆、小豆、白ネギ、ブロッコリーを中心に栽培実習を行っています。種蒔きから育苗、堆肥、土壌改良材、肥料の散布、耕うん、代かき、移植、農薬散布、雑草対策、畔草刈り、収穫、調整、出荷などの一連の栽培管理を実践しながら知識や技術を習得します。



## 畜産コース

畜産科は、肉用牛である「黒毛和種」と乳用牛である「ホルスタイン種」を飼養管理し、飼料用作物も栽培管理しています。

1. 肉用牛部門：繁殖雌成牛10頭、育成雌牛3頭、子牛2頭、肥育牛1頭  
子牛飼養管理や繁殖技術に関する試験を実施して農業後継者を育成しています。また、受精卵移植を活用して、育種改良の促進を図っています。
2. 乳用牛部門：搾乳牛12頭、乾乳牛1頭、育成雌牛6頭、子牛2頭  
搾乳は3頭を同時に搾乳するパーラー式です。子牛飼養管理、繁殖技術及び産乳成績向上に関する試験を実施して農業後継者を育成しています。
3. 飼料作物部門：自給飼料圃場は計5haあり、冬作牧草イタリアンライグラスと夏作飼料用トウモロコシの輪作体系を取り入れています。職員のみならず学生も大型機械に乗って作業します。



## 研修科



研修科では、社会人を経験されてから就農を目指す方に対して、農業の基礎・実践技術を習得するための様々な研修を行っています。研修生のニーズに応じた各種研修を御提案しています。

【公共職業訓練「アグリチャレンジ科」】は、農業機械の操作方法など、主に農作業の基本技能をマスターできる約4ヶ月間の研修です。年3回（6月、10月、2月）、1期あたり25名を定員として実施しています。10月4日から、通算7期目の研修がスタートしました。

【スキルアップ研修】は、就農品目の栽培技術及び経営感覚の習得を目的とした1年間の研修です。年2回（4月、10月）、年間15名を定員として実施しています。野菜部門では模擬経営方式を導入し、担当品目の作付・管理計画作成から、栽培管理作業の実践、出荷後の収支決算及び結果検討までを、主体的に行っていただきます。

【先進農家実践研修】は、就農予定地域において、就農品目の実践的技術及び経営ノウハウを先進農家のもとで習得する1年間の農家派遣型研修です。これまでに、鳥取市（白ねぎ、アスパラガス等）、八頭町（梨、白ねぎ、ハトムギ等）、湯梨浜町（ブドウ）、琴浦町（芝）、北栄町（スイカ、メロン、長いも、中玉トマト）での研修が、地域ぐるみの就農支援体制のもと実施されています。



## 学生会の取組



鳥取短大との交流会

農大には学校生活をよりよいものにするために、1・2年生の学生で組織された会があります。主な活動は、学生会の行事の企画・運営です。具体的には、歓迎会では楽しんでもらえるような出し物を考えたり、会食で何を食べるかなどを企画して準備します。他にも他校の人が農大に来る時は、少しでも農大のことを知ってもらえるような企画をします。以上のように学生会は行事などを一から学生達を中心に協力しながらやっています。とてもやりがいがある仕事なので、是非農大に入って一緒に頑張っていきましょう。

## 平成30年度入学生を募集中です！

農業に関心と意欲のある方、農家非農家を問いません。自営就農はもちろんのこと、最近では農業法人等への雇用就農など就農のチャンスが広がっています。農業を目指す仲間とともに学びましょう。いろいろな就農支援制度を活用することもできます。

### ■ 募集人員

養成課程農業経営学科30名（推薦入学者を含む）  
※出願時に果樹・野菜・花き・作物・畜産のコースを選択

### ■ 試験日程等

区 分	一般入学前期および社会人特別入学前期	一般入学後期および社会人特別入学後期
受付期間	平成29年10月30日(月)～11月17日(金)	平成30年1月4日(木)～1月19日(金)
試験日時	平成29年12月3日(日)午前9時から	平成30年2月4日(日)午前9時から
合格発表	平成29年12月8日(金)正午	平成30年2月9日(金)正午

### ■ 資料請求・問合せ先

教育研修課 福本（電話0858-45-2411、ファクシミリ0858-45-2412）

## 修農祭 2017 開催のご案内

毎年恒例の修農祭を開催します。学生が作った農産物や加工品を販売します。特に力自慢の学生によるつくたてのモチは絶品です。その他、抽選イベントや食べ物の屋台もあります。お誘い合わせのうえ、お越しく下さい。お待ちしております。

日時 ▶ **11月23日(木)** 午前10時～午後1時

場所 ▶ **農大校舎西側の駐車場および格納庫周辺**  
※当日はグラウンドも開放し、駐車スペースとして用意しております。

### 学生から一言



学生会長 門脇幸律

修農祭では、学生達が実習で栽培した野菜や果樹を販売したり、屋台も出しています。また、他にもいろいろなイベントがあります。中でも、毎年、学生が手をついた餅は大人気で、多くの方に買っていただいています。是非一度、修農祭に来てご賞味ください。

